

令和7年度 第1回広島県生活支援体制整備における多機関合同意見交換会実施要領

1 目的

地域包括ケアシステムの実現に向けた、誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できる地域づくり、とりわけ生活支援体制整備事業においては、そこで暮らす「生活」を支援していくことから、多様な主体が連携・協働していくことが重要となります。

本研修は、実践報告を通して多様な主体が連携・協働している事例に学ぶとともに、グループワークで意見交換を行うことにより、参加者同士の顔の見える関係づくり、ネットワーク形成促進の一助となるよう実施します。

※ 本意見交換会は、(一社)広島県介護支援専門員協会の生涯学習(研修単位認定)制度「D-3-5」に申請予定です。

2 対象者

生活支援コーディネーター、市町職員、地域包括支援センター職員、市区町社会福祉協議会職員、県・県保健所(支所)職員、居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員・介護支援専門員等の高齢者支援や地域福祉に携わっている方、民間事業者の方等

3 参加方法

職場・自宅等のPC等から、ZoomMeeting(以下「オンライン」という。)で参加

4 日 時 令和7年10月16日(木) 13時15分~16時30分

5 内容及び講師

12:50 受付 開始	13:15 開会・ オリエ ンテ ション	13:20 実践報告	13:55 休憩	14:00 講 演	14:35 休憩	14:45 質疑 応答	15:00 意見交換(グループワーク) ※民間事業者の方で参加を希望されない場合は申込フォームよりお知らせいただければ結構ですが、傍聴のみ・ご参加とも大歓迎です。	16:00 全体 共有	16:30 閉会
-------------------	----------------------------------	---------------	-------------	--------------	-------------	-------------------	---	-------------------	-------------

テーマ『生活支援体制整備事業・SC × 民間企業 を含む多機関連携』

昨年引き続き、民間企業を含む多機関連携について考える第2弾です!!

食料品や日用品の買い物、理美容、公共交通の利用、生命保険への加入など、民間企業が提供するサービスと無縁に生活する人はおらず、地域の企業や商店は、そこで暮らす全ての人にとって重要な存在であるとともに、高齢者の生活課題を解決する上でも重要な資源です。

➤ 実践報告「THE 漢(おとこ)の料理教室の取組(大竹市)」

大竹市でのこの取組は、生活支援コーディネーターと生協の方との、「男性の居場所づくり」・「一人ぐらし高齢者の食生活」をキーワードに楽しいことはできないか、「食品を扱っている生協さんの強みを借りたい」といった雑談から企画が実現したそうです。参加者にも好評を得たこの料理教室での多機関連携について、報告をしていただきます。

実践報告者：大竹市地域包括支援センター 大竹市第1層生活支援コーディネーター ^{えき} 浴 ^{はじめ} 肇 氏
介護支援専門員 近藤 美香 氏
生活協同組合ひろしま(生協ひろしま)組織運営部
地域連携グループ 冷凍生活アドバイザー/食育マイスター 今村 郁雄 氏

➤ 講 演「生協ひろしまの社会的取組について」

高齢者が住み慣れたところで安心して生活するためには、多様な主体による支援が必要となります。今回の講演では、県内全域で様々な取組を展開されている生協ひろしまの社会的取組のビジョンや各地での特徴的な取組等についてお話しさせていただきます。所属や立場は違っても、同じ地域の一員としての強みや接点を生かし、『共に』できることはもっとあるのではないのでしょうか。その更なるヒントを得る貴重な機会になると思っております。

講 師：生活協同組合ひろしま(生協ひろしま) 専 務 理 事 高浦 美穂 氏

➤ **意見交換**（グループワーク）

※昨年度までは圏域別のグループ分けを主としていましたが、参加者の皆さまの声を受けて、圏域に関係ないグループ分けとし、様々な市町、立場の方々ミックスのグループで情報・意見交換をしていただく予定です。

意見交換テーマ 『多機関連携にまつわるアレコレ』

6 事前視聴 推奨動画

まだ視聴したことがない方で、生活支援体制整備事業、生活支援コーディネーターの役割や取組について理解を深めておきたい方は、次の URL より事前に動画をご視聴ください。

URL : <https://www.chiikihoukatsucare.net/jiritsushien3/index.html>

7 注意事項

- (1) 事前に別紙「オンライン (ZoomMeeting) 研修受講の注意事項」を確認の上、申し込んでください。
- (2) 受信障害の起きない静かな環境での受講をお願いします（グループワークを行いますので、カメラ・マイク機能付きの端末機器を使用し、周囲の音が入らない環境での受講をお願いします）。
- (3) 同一事業所等から、同一端末で複数名での受講も可能ですが、受講申込は各自でお願いします。また、グループワークのグループ分けの参考にしますので、研修申込フォームにその旨をご記入ください。
- (4) 意見交換会当日の Zoom 情報及び注意事項等について、開催数日前に受講申込時のメールアドレスに送信します。併せて、当日資料のダウンロード方法を通知します。
- (5) 本意見交換会では事前の接続トライアルは実施しませんので、申込後、当日までに当センターホームページ（各種研修情報＞研修の開催情報＞本意見交換会）に掲載の「ZoomMeeting 接続マニュアル」のご確認をお願いします。

Zoom のセルフテスト等について（お願い）

■Zoom は次の URL で、ビデオ・スピーカー・マイクのセルフテストができます。ご使用予定の端末のビデオ・スピーカー・マイクが正常に作動するか確認を済ませてからご参加くださるようお願いいたします。 URL : <https://zoom.us/test>

■Zoom アプリ（クライアント）からの参加を推奨します。アプリは最新バージョンにアップデートをお願いします。

8 申込期間 令和7年8月29日（金）9時00分 ~ **令和7年10月6日（月）23時59分**

9 申込方法

当センターホームページ（各種研修情報＞研修の開催情報＞本意見交換会）に掲載の「研修申込フォーム」から必要事項をご記入の上、次の(1)~(3)のことに注意してお申し込みください。

令和7年度第1回広島県生活支援体制整備における多機関合同意見交換会

URL : https://www.chiikihoukatsucare.net/p02kensyu_kiji.php?id=180



- (1) 研修申込フォームの送信後、申込受付のメールが自動返信されます。パソコン、スマートフォン、携帯電話の設定で迷惑メール対策としてドメイン指定受信設定をされている方は、当センタードメイン「hiroshima-hm.or.jp」からのメールが受信できるように設定してください。

- (2) 自動返信メールの送信先をフリーメールアドレス（Gmail/Yahoo!メール等）にされた場合は、自動返信メールがフィルタリング機能により迷惑メールフォルダ及び削除フォルダに振り分けられる可能性がありますので、ご注意ください。
- (3) 自動返信メールが届かない場合は、申込受付が完了していない可能性があります。「13 問合せ」までご連絡ください。

10 受講決定

研修申込フォームで受付され、自動返信メールが届いた方は受講できます。

11 個人情報の取扱い

研修申込フォームに記載された個人情報は、この研修の実施に必要な範囲に限って利用させていただきます。

12 その他

本研修は、一般社団法人広島県介護支援専門員協会の生涯学習（研修単位認定）制度「D-3-5」に申請予定です。介護支援専門員有資格者で、生涯学習制度の単位取得を希望する方は、研修申込フォーム「一般社団法人広島県介護支援専門員協会の生涯学習制度単位認定の申請について」の項目に必ずご入力ください。生涯学習シートは、申請希望かつ受講確認が取れた方へのみ、後日メールによって配付します。

13 問合せ先

広島県地域包括ケア推進センター（担当者：田中・石川・藤原）

〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目2-3 広島県医師会館4階

電話：(082) 569-6493

メールアドレス：hokatsu-kensyu@hiroshima-hm.or.jp

ホームページ：<https://www.chiikihokatsucare.net/>

※メールでお問い合わせの場合、件名に「令和7年度生活支援体制整備における多機関合同意見交換会について」と記入してください。